



こんにちは

No.29 2011.4.10

37歳

金子てるよし です

日本共産党

JCP 文京 青年・雇用・子育て相談室長



連絡先

小竹ひろ子事務所 文京区白山 1-26-18 桜井ビル 2階 ☎3815-9301

日本共産党文京地区委員会 文京区白山 3-2-5 ☎3814-1076

山の湯の 存続を

1059 筆の署名を区へ提出

東日本大震災で煙突に損傷を受けた銭湯「山の湯」(根津一丁目)。煙突は撤去され、再開は困難と言います。廃業は困ると、地域住民の方々から存続を求める声が上がりました。六日、住民の皆さんと区へ提出しました。

参加したみなさんは「高齢の利用者は坂を上ったり、バスで往復一時間かけたりして、他の銭湯に行くのに大変な思いをしている」と山の湯が休業してからの実態を区の担当者に訴えました。

また「区が高齢者に発行している百円の入浴券は緊急措置として台東区の朝日湯や黒湯でも利用できるようにして」などの要望を出しました。生活衛生課長は、短期間に集まった千筆を超える署名を重く受け止め、山の湯の経営者と同時に所有者側にも公衆浴場の支援制度があることを知らせ、存続に向けて働きかけると答えました。



宮本眞理子保健衛生部長に申し入れる地域のみなさんといたくら美千代区議、金子、金森久城元区議。

区には「公衆衛生上、区民に必要不可欠な施設である公衆浴場の経営の安定と確保を図る」ことを目的として施設整備の補助制度があることから、区は制度を活用して銭湯の存続をさせるために思い切った支援を行うよう申し入れました。



署名用紙を積み上げるとこんなに厚みがありました。

銭湯の施設への支援制度

建替等の設備改善
一千万円を限度とする
借入金の利子の一部補助
元釜、空調設備等の取替
元釜、空調器等に各百万円
燃料を都市ガス等クリ
ーンエネルギーに転換
改修費用二百万円(別に都
の補助二百万円)
煙突等の小規模改修補助
百万円

区長選

野田 誠

小竹ひろ子

日本共産党
前都議

「明るい文京区政をつくる会」は六日、文京区長選に小竹ひろ子氏(前都議)を無所属で擁立することを決定し、防災・福祉・くらし最優先の区政への転換をめざす政策協定書に調印しました。日本共産党は「会」の構成団体です。区政の転換に向け私も頑張ります。

ちよっと寄り道 (28)

福島県の自宅が被害を受け区内に避難された方から相談を受けました。転出入の手続きが整わない中、お子さんの学校の転入手続きなどを新学期に間に合わせたい等の相談でした。党区議員団と連携し、関係者の対応も的確で、解決の道筋がつけられました。

被災者の生活は地震以来一変し、大変な思いをされていることを肌身で感じました。「ご相談はこちらへ」と書いたチラシをみたことが相談したきっかけでした。一枚のチラシが貴重な役割をもっていることを改めて実感しました。



震災被害者へ引き継ぎと協力をお願いします。金子てるよし事務所

ご相談・ご要望は 文京区根津 一・二・三 三 ☎五八一四二六六六へ

